

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		東日本大震災農業生産対策交付金交付事業				
	担当課・係名		産業振興課 農村整備係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
		項	01 農業費		小分類	01 やりがいのある農業の確立（重）	
目		03 農業振興費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		0	0	0	0	0
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 町内の放射性物質に汚染された農用地。						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 食品中の放射性セシウムに係る基準値(100Bq)以下。						
⑤	事業概要 大豆 286.05ha 投入量 塩化カリ 284.2ha 56,840kg(20kg/10a) パームアッシュ 1.85ha 740kg(40kg/10a) 事業費 5,347,929円 交付金 4,954,000円						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
A	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
A	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明	
点数 15	
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明	
点数 15	
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明	
点数 15	
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明	平成26年度から3年間の事業で、27年度からすでに基準値を下回っているので28年度で事業完了となる。
点数 5	

⑪	
課長総括評価	
合計点 50	
今後の方向性	廃止

⑫	
二次評価	
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		保野川ダム維持管理事業				
	担当課・係名		産業振興課 農村整備係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		01 農業費	小分類		01 やりがいのある農業の確立（重）		
	目	05 農地費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		4,808	4,447	6,933	4,396	5,000
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
一般財源		4,808	4,447	6,933	4,396	5,000	
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 渇水期における農業用用水の不足。						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 保野川水系に造成されたダムにより、渇水期の農業用水不足を解消。						
⑤	事業概要 保野川ダム諸元 形式：ゾーン型ロックフィルダム、堤頂長：223m、堤高：41.4m、総貯水量：360,000m ³ 有効貯水量：260,000m ³						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 地球温暖化による気候変動に伴う天候不順が顕著に表れており、今後も日照や降雨の減少が考えられる。そのためにも保野川ダム等の貯水施設が求められている。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
A	単位：回	実績値 目標値	1 1	1 1	1 1		
定義	年1回の草刈り						
B	単位：回	実績値 目標値	13 13	13 13	13 13		
定義	月1回の定期点検						
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
A	単位：	実績値 目標値	1 0	1 0	1 0		
定義	渇水期の水不足のための放流（目標値なし）						
B	単位：日	実績値 目標値	0 0	0 0	0 0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ	最も適切な方法で行われている	5
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明	農業用水水源として必要不可欠な施設である。	
点数	15	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	5
イ	目的を達成するために有効な事業である	5
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明	安定した農業用水量の供給。	
点数	15	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	5
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ	受益者負担は適正である	1
評価の説明	現状の維持管理の徹底。受益者負担は難しいと思われる。	
点数	11	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明	放流依頼に応じて実施している。 ※29年度は放流実績なし。	
点数	5	

⑪	課長総括評価	維持管理はかかるが、常に良好の状態を保つ必要性があり、農産物を生産するには必ず必要な水である。
合計点	46	
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		農業基盤整備事業（担い手区画整理）				
	担当課・係名		産業振興課 農村整備係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		01 農業費	小分類		01 やりがいのある農業の確立（重）		
	目	05 農地費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		29,050	28,892	16,488	16,431	43,140
	財源 内訳	国県支出金	10,055	10,056	2,863	2,864	31,738
		その他特定財源	11,081	11,082	9,085	10,234	1,781
一般財源		7,914	7,754	4,540	3,333	9,621	
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
受益者（担い手）が主である。（高城地区及び月崎・清水）							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
農家数の減少と農業従事者の高齢化及び担い手不足が深刻な状況下で、圃場の未整備地区である高城地区及び月崎・清水地区の基盤整備事業を実施することにより、農地の総合的な利用促進と農業の近代化が図られ、中核の農家を中心とした、生産組織の育成を確保する。							
⑤	事業概要						
下高城地区圃場整備事業 平成22年度採択27年度完了予定であったが、国予算削減により令和2年度にずれ込む予定。 区域面積82ha 清水・月崎地区 令和2年度採択予定、令和3年度より実施設計、令和4年度から面工事着手予定。整備面積は195.8ha							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
米価格が下がる中、集落営農を中心とした営農活動が進められ、コスト削減による所得向上を推し進めている。今後も耕地の大区画化や農作業の機械化、農地の集積による更なるコスト削減が必要となっている。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
<ul style="list-style-type: none"> ・経営体育成基盤整備事業実施要綱 ・農業経営高度化支援補助金交付要綱 							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	会議回数	単位：回	実績値	2	2	2	
			目標値	0	2	0	
定義							
B	会議回数	単位：回	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A		単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	受益者の同意を得て、担い手の育成が多いに期待出来る適切なものと考えられる。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	地区の担い手へ農地の集積をはかり、低コスト農業に向けて事業を推進している。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	必要最小限の経費で、実施している。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	事業が採択され、事業実施。

⑪	課長総括評価 関係機関と連携を図り、事業早期完成を目指す。 合計点 50
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		花川ダム維持管理事業				
	担当課・係名		産業振興課 農村整備係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
		項	01 農業費		小分類	01 やりがいのある農業の確立（重）	
目		05 農地費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
総事業費（千円）			590	590	590	590	590
財源 内訳	国県支出金		0	0	0	0	0
	その他特定財源		0	0	0	0	0
	一般財源		590	590	590	590	590
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
<p>渇水期における農業用用水の不足。</p>							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
<p>花川水系に造成されたダム及び溜池により、渇水期の農業用用水不足を解消。</p>							
⑤	事業概要						
<p>障害防止事業によって造成された花川ダム（180,000m³）及び花川1号・2号貯水池、除溜池は、農業用用水として使用するため維持管理の実施。</p> <p>※平成30年度 放流実績 花川1号ため池。</p>							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
<p>地球温暖化による気候変動に伴う天候不順が顕著に表れており、今後も日照の連続や降雨の減少が考えられる。そのためにも花川ダム及び溜池等の貯水施設が求められている。</p>							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
<p>花川ダム管理組合より規定</p>							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	単位：回	実績値	2	2	2		
		目標値	2	2	2		
定義		年2回の定期点検及び地震時の緊急点検					
B	単位：回	実績値	1	1	1		
		目標値	1	1	1		
定義		年1回の草刈りの実施					
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	単位：日	実績値	0	0	1	花川1号溜池	
		目標値	0	0	0		
定義		渇水期の水不足のための放流（目標値なし）					
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ	最も適切な方法で行われている	5
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明	取水確保の達成を目指す用水としては必要な事業である。	
点数	15	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	5
イ	目的を達成するために有効な事業である	5
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明	受益地に安定的な取水の供給が必要である。	
点数	15	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	5
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ	受益者負担は適正である	5
評価の説明	受益地に安定的な取水の供給が最も適切である。	
点数	15	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明	放流依頼に応じて実施している。	
点数	5	

⑪	課長総括評価	維持管理はかかるが、常に良好の状態を保つ必要性があり、農産物を生産するには必ず必要な水である。
合計点	50	
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		農道等維持管理事業				
	担当課・係名		産業振興課 農村整備係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		01 農業費	小分類		01 やりがいのある農業の確立（重）		
	目	05 農地費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		8,639	8,241	936	865	487
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	6,613	6,617	7	26	12
一般財源		2,026	1,624	929	839	475	
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 農業用施設（農道・水路等）						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 農道・水路について適正に維持管理し農作業事故防止や生産の効率を上げる。						
⑤	事業概要 農道の路面整備，敷砂利，水路補修（土地改良区管理外のもの）を実施。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 今まで農道だった路線がほとんど町道に昇格となっている。 現在残っている農道については184路線，延長37,684m						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） なし						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：箇所	実績値	0	1	1	
			目標値	0	0	0	
定義 農道補修実施箇所							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：箇所	実績値	0	1	1	
			目標値	0	0	0	
定義 農道補修実施箇所							
B	単位：箇所	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義 水路補修実施箇所（目標値なし）							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ	最も適切な方法で行われている	5
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明	農業用施設整備を実施することにより適正な運行が期待される。	
点数	15	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	5
イ	目的を達成するために有効な事業である	5
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明	受益者による安全性が求められる。	
点数	15	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	5
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ	受益者負担は適正である	5
評価の説明	安全性の確保及び、生産性の向上が図られた。	
点数	15	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明	受益地への安全性及び生産性の確保された。	
点数	5	

⑪		
課長総括評価	町民より要望・要請された場合は整備を進めて行く。 随時、維持補修のため適時に実施して行く。	
合計点	50	
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫		
二次評価		
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		多面的機能支払交付金事業				
	担当課・係名		産業振興課 農村整備係				
予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ		
	款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成		
	項	01 農業費		小分類	01 やりがいのある農業の確立（重）		
	目	05 農地費		重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>			
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		58,807	58,807	60,137	60,052	63,094
財源 内訳	国県支出金		44,374	44,375	44,686	44,686	47,590
	その他特定財源		0	0	0	0	0
	一般財源		14,433	14,432	15,451	15,366	15,504
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	農道、用排水路の保全管理。						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	地区住民による農地の保全管理。						
⑤	事業概要						
	平成30年度末組織数 22組織 平成26年度から実施組織数 4組織 ・除、伝八、志津、平沢 平成27年度から実施組織数 13組織 ・大原、一つ橋、一ノ関、道命、向町、上郷、新田、上黒沢、下黒沢、下高城、 吉田、鷹巣、小栗山 平成28年度から実施組織数 3組織 ・南大、袋、清水 平成29年度から実施地区 2組織 ・北大、花川沢口 ●交付金対象面積(22組織分) 水田 1,923ha(3,000円/10a) 畑 77ha(2,000円/10a) 草地 0ha(250円/10a)						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
A	組織数	単位：組合	実績値	17	22	22	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ	最も適切な方法で行われている	5
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明	農地の維持をしていくには有効な事業である。	
点数	15	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	5
イ	目的を達成するために有効な事業である	5
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明	地区単位で農地の維持管理を行っており、景観もよくなっている。	
点数	15	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	5
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ	受益者負担は適正である	5
評価の説明	今後高齢化に伴う農地の荒廃を防ぐためにも有効である。	
点数	15	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明	各組織とも年次計画通り実施しており、農地の保全への貢献度は高い。	
点数	5	

⑪	課長総括評価	地区住民の協同作業により農地の保全に関しては有効な事業であり、今後とも継続して行う事業である。
合計点	50	
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		農業振興事業				
	担当課・係名		産業振興課 農政係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		01 農業費	小分類		01 やりがいのある農業の確立（重）		
	目	03 農業振興費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		985	904	12,340	12,259	714
	財源 内訳	国県支出金	111	112	5,877	5,877	111
		その他特定財源	0	100	0	91	0
		一般財源	874	692	6,463	6,291	603
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
農業従事者 町生活改善クラブ会員・地元地場産品生産者他							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
農業振興事業の推進や町特産品の開発による新しい基盤形成を図り、地域振興に努める。 地場産品の開発・販売等農産加工活動の充実を図る。 本町の特産物（えごま）PRや、開発及び農産加工品の生産販売。							
⑤	事業概要						
農業振興事業を推進するための事業 特産品等表示シール作成及び販売 ふるさと福袋事業 みやぎまるごとフェスティバル出展負担							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
町特産品の商品開発・農産加工の販売により生活改善クラブの充実と地域の発展。ふるさと福袋による特産品及び地場産品の県内外への販売。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	福袋の販売数量	単位：個	実績値	263	255	261	
			目標値	0	0	0	
定義 福袋の販売数量の推移							
B	えごまの作付面積	単位：a	実績値	2,640	2,405	2,640	
			目標値	0	0	0	
定義 えごまの作付面積の推移							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	えごま出荷量	単位：t	実績値	10	10	10	
			目標値	0	0	0	
定義							
B	特産物として試作するメニュー数量	単位：品目	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	3
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 11	関係団体と連携を図りながら、町として推進するとともに第3セクターへの管理、開発を依頼を進める。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	特産物のPRや開発及び生産販売には有効な事業である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	3
評価の説明 点数 11	他の事業や他団体と連携し効率的に行っている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	3
評価の説明 点数 3	えごま商品の開発を通して、町のPRに貢献している事業である。

⑪	課長総括評価 合計点 37	関係団体と連携し色麻のえごまをPRし、今後とも特産物の商品開発を継続していく必要がある。
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		各種農業団体関係事務的負担金交付事業				
	担当課・係名		産業振興課 農政係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		01 農業費	小分類		01 やりがいのある農業の確立（重）		
	目	03 農業振興費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		679	679	1,631	1,631	2,462
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
一般財源		679	679	1,631	1,631	2,462	
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
農業従事者 町生活改善クラブ会員・地元地場産品生産者他							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
農業生産の増大と農業経営の安定を図るため、各関係団体において技術の検討会・研修会を開催し、会員等の経営の向上を目指す事業に対し補助する。 また、農業システムの継承と農業振興のツールとして農業遺産登録を目指す。							
⑤	事業概要						
組織の技術向上を図るための助成事業 郡りんご協議会、農業用廃プラスチック適正処理推進協議会、みやぎ農業振興公社原種苗事業、大崎地域世界農業遺産推進協議会の負担金							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
各団体の負担金について、市町村会による審査会において決定している。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
法令外負担金							
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	単位：—	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：—	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	単位：—	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：—	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	組織の技術の向上や事業を活性化するため妥当である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 14	他町との技術の交流、価額補償において必要な事業である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 13	組織の運営費として適正である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	組織の技術向上や野菜の価額補償など町を越えての事業であるが成果は上がっている。

⑪	課長総括評価 各団体の運営上、継続的に必要な事業であり成果が上がっている。 合計点 46
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		色麻町農作物病害虫防除協議会事業				
	担当課・係名		産業振興課 農政係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		01 農業費	小分類		01 やりがいのある農業の確立（重）		
	目	03 農業振興費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		3,256	3,256	2,959	2,959	2,959
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
一般財源		3,256	3,256	2,959	2,959	2,959	
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
農業従事者 町生活改善クラブ会員・地元地場産品生産者他							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
農作物の病害虫防除に万全を期するため、病害虫防除の組織態勢を整備拡充し、組織活動の統一強化と効率の高い防除実践を進める事業。							
⑤	事業概要						
凍霜害対策本部設置や稲作安定対策本部の設置により予防剤散布の広報や助成・野ソ駆除の一斉駆除・稲作現地検討会などによる防除対策の計画また、有害鳥獣駆除により作物の被害削減・無人ヘリによる防除の徹底など、農作物の安定収益を図るための重要な事業である ①良質米生産助成事業②野ソ駆除剤購入費③大豆団地無人ヘリ助成事業④実践本部補助金等							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
気象変動による農作物の病害虫の発生等による防除事業が重要となってきている。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
色麻町農作物病害虫防除協議会規約							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	広報活動、事業実施回数	単位：回	実績値	15	15	15	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 13	町・農協・共済組合・農業委員会により組織しており適切に運営されている。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	農作物への防除体制が確立されれば、農家の所得向上につながり有効的な事業である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 13	事業費は、現在のところ最小限であるが災害等が発生した場合、各団体の負担割合が多くなる。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	有線放送、広報等により防除指導を徹底している。

⑪	課長総括評価 関係団体との連携により適切な防除体制が図られており、有効的な事業である。
合計点 46	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		園芸産地拡大推進事業				
	担当課・係名		産業振興課 農政係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
		項	01 農業費		小分類	01 やりがいのある農業の確立（重）	
目		03 農業振興費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		2,290	2,290	5,575	5,575	9,587
	財源 内訳	国県支出金	1,762	1,762	4,289	4,289	7,375
		その他特定財源	0	0	0		
		一般財源	528	528	1,286	1,286	2,212
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
農業従事者 町生活改善クラブ会員・地元地場産品生産者他							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
露地・施設野菜の生産効率の向上と産地拡大を図る為、園芸施設の強化整備を実施し、消費地への安定継続出荷産地を目指す事業							
⑤	事業概要						
昭和63年度～平成29年度まで実施 パイプハウス 717棟設置（県補助金1／3以内、町補助金1／10以内） パイプハウス、管理機、ねぎ皮むき機、動力噴霧機等の導入							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
米価下落により園芸作物の増加に伴い、園芸関連施設の整備による消費地への安定継続出荷産地を目指し、農家経営の安定を図ることができる。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
色麻町園芸特産重点強化整備事業補助金交付要綱							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	単位：棟	実績値	2	1	5		
		目標値	0	0	0		
定義 ハウスを設置した棟数							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	単位：千円	実績値	99,913	102,023			
		目標値	0	0	0		
定義 ほうれん草の販売実績							
B	単位：千円	実績値	88,042	110,440			
		目標値	0	0	0		
定義 長ねぎの販売実績							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 本町における園芸作物は、年々拡大を続けており施設・機械の整備により、安定した収量を出荷出来るよう今後とも進めていく。 点数 14	
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 収量（ほうれん草、ネギ）も安定しており、価格も大きく変動しないことから、年間の収益も一定している。今後、町の基幹作物へと期待できる。 点数 15	
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 農協が事業主体で事業を進めており、生産・出荷・技術指導など徹底している。 点数 14	
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 施設・機械の整備及び生産収量も増加の傾向にある。 点数 5	

⑪	課長総括評価 米価下落により、園芸作物の作付増加に伴い施設整備等において重要な事業である。 合計点 48 今後の方向性 <input type="text" value="現状のまま継続"/>
---	---

⑫	二次評価 今後の方向性 <input type="text"/>
---	-------------------------------------

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		色麻町産業経済振興審議会運営事業				
	担当課・係名		産業振興課 農政係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		01 農業費	小分類		01 やりがいのある農業の確立（重）		
	目	03 農業振興費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		66	47	0	0	175
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	66	47	0	0	175
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
農業従事者 町生活改善クラブ会員・地元地場産品生産者他							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
産業経済の振興発展を促進する基本的な計画の策定。 審議会は色麻農業振興整備計画の樹立、計画の変更の審議を行い、農業・農村、林業、商工業、観光それぞれの計画の施策実施により産業経済の発展を促進する。							
⑤	事業概要						
審議会を開催し色麻農業振興整備計画の樹立、計画の変更について審議。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
前回の農業振興整備計画の見直しにより、変更の案件が減少。 最近は、畜産部門の新規就農、規模拡大による計画の一部変更ができてきている。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
色麻町産業経済振興審議会条例							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	産業経済振興審議会	単位：回	実績値	1	1	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ	最も適切な方法で行われている	5
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明	農業振興・農地保全の面から基本となる事業	
点数	15	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	5
イ	目的を達成するために有効な事業である	5
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明	農業振興・農地保全のため必要	
点数	15	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	5
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ	受益者負担は適正である	5
評価の説明	必要最小限の活動	
点数	15	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明	必要に応じ会議を開催	
点数	5	

⑪		
課長総括評価		
合計点	50	
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫		
二次評価		
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		農業災害対策利子補給事業				
	担当課・係名		産業振興課 農政係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		01 農業費	小分類		01 やりがいのある農業の確立（重）		
	目	03 農業振興費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		24	20	12	10	10
	財源 内訳	国県支出金	16	17	8	8	8
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	8	3	4	2	2
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
農業従事者 町生活改善クラブ会員・地元地場産品生産者他							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
震災等による被害を受けた農業者の経営の維持管理を図るため、翌期の再生産に必要な経営資金を低利で融資する事業。							
⑤	事業概要						
・農業災害対策資金利子補給（県・町助成）貸付者 2件貸付金額4,700,000円							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
翌期の生産資材代・経営に必要な資金							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
色麻町農業災害対策資金利子補給補助金交付要綱							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	該当者	単位：—	実績値	2	2	2	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			#VALUE!	#VALUE!	H元		
A		単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ	最も適切な方法で行われている	5
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明	天災による被害であるため農業経営にとって重要な事業。	
点数	15	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	5
イ	目的を達成するために有効な事業である	5
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明	農業経営の安定を図る有効な事業。	
点数	15	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	5
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ	受益者負担は適正である	5
評価の説明	農業者・町・農業協同組合、この三者の信頼・連携が重要な事業。	
点数	15	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明	震災被害による支援なので必要である。	
点数	5	

⑪		
課長総括評価	震災被害による支援なので重要な事業である。	
合計点	50	
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫		
二次評価		
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		利子補給事業（認定農業者除）				
	担当課・係名		産業振興課 農政係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
		項	01 農業費		小分類	01 やりがいのある農業の確立（重）	
目		03 農業振興費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		82	82	68	67	53
	財源 内訳	国県支出金	40	41	33	34	26
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	42	41	35	33	27
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	農業従事者 町生活改善クラブ会員・地元地場産品生産者他						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	本町農業の中核的担い手となる農業経営体を育成するため、当該資金を借り受けて経営の規模拡大を図ろうとする農業者に対して利子補給を行うことを目的とする。						
⑤	事業概要						
	農業経営基盤強化資金利子助成（県・町） 件数：2件（H30）						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	農業経営規模拡大及び農業施設建設などの基盤整備に重要な事業である。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	該当者	単位：—	実績値	2	2	2
				目標値	0	0	0
	定義						
	B		単位：—	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
	定義						
	⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）					
		指標名			H28	H29	H30
A			単位：—	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
定義							
B			単位：—	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	農業経営規模拡大により農業経営の安定が期待できる事業。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	農業経営の安定を図る有効な事業。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	農業者・町・融資機関この三者の信頼・連携が重要な事業。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	農業経営規模拡大により農業経営の安定が期待できる事業である。

⑪	課長総括評価 農業経営規模拡大に伴い安定した農業経営が期待できる事業である。 合計点 50
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		町鳥獣被害対策事業				
	担当課・係名		産業振興課 農政係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		01 農業費	小分類		01 やりがいのある農業の確立（重）		
	目	03 農業振興費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		352	342	879	869	6,791
	財源 内訳	国県支出金	0	0	500	500	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	352	342	379	369	6,791
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
農業従事者 町生活改善クラブ会員・地元地場産品生産者他							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
有害鳥獣による人身被害の未然防止や農作物被害の軽減							
⑤	事業概要						
町鳥獣被害対策実施隊員報酬 町鳥獣被害対策実施隊員費用弁償 町狩猟免許取得等助成金 町有害鳥獣捕獲担い手支援事業補助金 等							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
有害鳥獣による被害は年々増加傾向にあり、農作物のみならず人身被害も発生している。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
色麻町鳥獣被害対策実施隊設置規則 色麻町狩猟免許取得等助成金交付要綱 色麻町有害鳥獣捕獲担い手支援事業補助金交付要綱							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	実施隊員	単位：人	実績値	9	9	10	
			目標値	0	0	0	
定義							
B	被害金額	単位：千円	実績値	2,702	3,504	1,416	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	実施隊員	単位：人	実績値	9	9	10	
			目標値	0	0	0	
定義							
B	被害金額	単位：千円	実績値	2,702	3,504	1,416	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	町で行うべき事業である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	農産物の品質向上及び栽培技術開発を図るために必要である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	適切である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	侵入防止柵の整備が完了していないため、今後実績が上がる見込み。

⑪	
課長総括評価 合計点 49	狩猟免許を新たに取得した方や更新した方に対し、助成金を交付しているため、隊員の増加が見込まれる。 鳥獣被害対策アドバイザーによる指導も予定しており、被害軽減を目指している。
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	
二次評価	
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		畜産振興事業				
	担当課・係名		産業振興課 農政係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		01 農業費	小分類		01 やりがいのある農業の確立（重）		
	目	04 畜産業費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		5,426	4,394	5,668	5,351	5,668
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	3,205	2,522	838	1,663	1,639
一般財源		2,221	1,872	4,830	3,688	4,029	
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
農業従事者 町生活改善クラブ会員・地元地場産品生産者他							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
畜産農家の共進会参加に対しての協力や、肉用牛改良推進を図り優良牛生産に努める。放牧場の利用推進を図り足腰の強い繁殖基牛の生産を図る。環境保全施設の有効利用を図り衛生関係の推進拡大を図ると共に疾病予防の指導・徹底により、畜産農家の経営の安定向上に努める。							
⑤	事業概要						
共進会参加を促すために関係団体と連携を図り、郡共進会・県共進会参加推進により、農家経営意欲の向上を図る。また、環境保全施設の有効活用、衛生管理の徹底とアカバネ病予防接種、素牛導入助成を行い経営の所得向上を図る。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
肉用牛の多頭化経営が多くなってきていることから、放牧場の活用が重要視されつつある、本町では3つの放牧場があり、今後どのように活用するか、また、施設を維持するか検討会の開催。 放射能汚染牧草対策を加美郡農畜産物被害対策協議会や関係機関と連携し対処していく。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	単位：頭	実績値	33	28	12		
		目標値	0	0	0		
定義 放牧場利用実績							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	単位：頭	実績値	1,760	1,640	1,785		
		目標値	0	0	0		
定義 繁殖・肥育・乳牛・養豚の頭数							
B	単位：頭	実績値	420	415	413		
		目標値	0	0	0		
定義 みやぎ総合家畜市場での販売頭数							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 14	町有地の有効利用が図られ（採草地）畜産農家への利益向上につながる。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	3
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 13	町素牛導入助成事業を推進し、優良子牛生産による販売増進及び頭数維持並びに増頭を進め畜産経営の安定向上を図る。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	最小限に経費を抑え適切である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	家畜の飼養頭数及び販売頭数の実績成果は上がっている。また、アカバネ病予防接種の実施による健全な子牛の生産と所得向上につながる。

⑪	課長総括評価 畜産振興発展のために必要な事業であり 汚染牧草の処理を加美郡農畜産物被害対策協議会を主体として対応していく必要がある。
合計点 46	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		優良肉牛基礎雌牛保留奨励事業				
	担当課・係名		産業振興課 農政係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		01 農業費	小分類		01 やりがいのある農業の確立（重）		
	目	04 畜産業費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		400	200	400	240	400
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	265	200	265	240	265
		一般財源	135	0	135	0	135
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
農業従事者 町生活改善クラブ会員・地元地場産品生産者他							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
農業者等が肉用牛の改良と増殖を図るため、加美地域内産優良肉用牛基礎雌牛及び加美地域内産優良肉用牛を購入または、保留した農業者に対し奨励金を交付し、生産優良牛の確保により肉用牛の体積、資質の改良に努めるとともに、生産拡大を図り、本町生産肉用牛の声価と所得向上に資することを目的とする。							
⑤	事業概要						
加美地域産優良肉用牛を導入した農業者に対し、25,000円から40,000円の範囲で奨励金を交付する。 購入額（評価額） 501千円以上40,000円、401千円以上500千円未満30,000円、400千円未満25,000円 ※自家保留牛の評価額については、保留時における町内産雌牛の市場価格とする。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
県種雄牛の種を受精している畜産農家が少ないため保留候補牛の対象が少なくなっている。理由として県の種雄牛では子牛が高く販売されない。但し、つい最近県種雄牛の茂洋が好評を得てきている。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
色麻町優良肉用牛基礎雌牛保留奨励金交付規則							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
A	単位：頭	実績値	11	5	6		
		目標値	0	0	0		
定義	保留頭数推移						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
A	単位：頭	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	3
評価の説明 生産優良雌牛の確保により、肉牛の体積、資質の改良に努め、生産拡大を図り、本町生産肉用牛の声価と所得向上を図る。 点数 12	
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	3
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	3
評価の説明 宮城県種雄牛を交配させた肥育牛の枝肉成績がA5（上物率）70～80%生産できる種牛の改良生産の推進。現在 茂洋号が有望種雄牛として名を挙げてきている。 点数 11	
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 宮城県種雄牛茂洋号の子牛が高値で取引されており、地域内保留を推進している。 点数 14	
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 妥当である。 点数 4	

⑪	課長総括評価 今後も、優良な雌牛の保留を行い、良質な牛の生産のため継続する。 合計点 41 今後の方向性 <u>改善の上継続</u>
---	---

⑫	二次評価 今後の方向性
---	----------------

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		畜産団体負担金交付事業				
	担当課・係名		産業振興課 農政係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		01 農業費	小分類		01 やりがいのある農業の確立（重）		
	目	04 畜産業費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		1,155	1,155	341	341	341
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	1,155	1,155	341	341	341
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
農業従事者 町生活改善クラブ会員・地元地場産品生産者他							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
畜産経営の安定と畜産環境整備に於いて、技術の検討会、研修会などを開催し協議会等の向上を目指す事業に対する負担金。							
⑤	事業概要						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 予防計画の指導（予防接種） ・ 経営安定に係る指導（講演会・講習会） ・ 各団体の技術向上のための助成及び指導 							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
法定伝染病の発生予防について、防疫対策が重要視されてくる。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
家畜伝染病予防法							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
A	単位：頭	実績値	1,183	1,685	1,588		
		目標値	0	0	0		
定義 家畜予防接種頭数							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
A	単位：頭	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ	最も適切な方法で行われている	4
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明	組織の技術向上や、技術指導の推進のため必要である。	
点数	12	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	4
イ	目的を達成するために有効な事業である	4
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明	組織の技術向上により、畜産振興の発展が望める。	
点数	12	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	5
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ	受益者負担は適正である	5
評価の説明	運営経費は最低限である。	
点数	15	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明	畜産振興に一定の成果を上げている。	
点数	4	

⑪	課長総括評価	予防接種の実施、経営安定に係る指導、各団体の技術向上のための助成及び指導の継続
合計点	43	
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		畜産団体補助金助成事業				
	担当課・係名		産業振興課 農政係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		01 農業費	小分類		01 やりがいのある農業の確立（重）		
	目	04 畜産業費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		200	200	200	200	200
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	200	200	200	200	200
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	農業従事者 町生活改善クラブ会員・地元地場産品生産者他						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	本町の畜産振興（和牛）の発展に対する補助金。						
⑤	事業概要						
	みやぎ加美和牛改良組合 繁殖和牛の改良、子牛及び成牛の各登録事業、会員を対象に技術検討会、視察研修会の実施。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	法定伝染病等の防疫の指導徹底を図る。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
A	単位：頭	実績値	420	415	413		
		目標値	0	0	0		
定義	子牛販売頭数推移						
B	単位：頭	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
A	単位：円	実績値	833,966	787,775	776,570		
		目標値	0	0	0		
定義	年度別市場平均額（単位：円）						
B	単位：千円	実績値	350,266	326,926	320,723		
		目標値	0	0	0		
定義	年度別売上金額（単位：千円）						

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ	最も適切な方法で行われている	4
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明	畜産振興の発展について重要な事業である。	
点数	12	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	4
イ	目的を達成するために有効な事業である	4
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明	優良種雄牛の生産においては欠かせない組合である。	
点数	12	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	5
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ	受益者負担は適正である	4
評価の説明	最低限の経費である。今後も、改良推進事業については、最重点事業として取り組んでいただく。	
点数	14	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明	家畜改良による優良牛導入と優良牛生産並びに飼養技術向上による子牛の取引価格が上昇している。	
点数	4	

⑪	課長総括評価	家畜改良による優良牛生産販売と技術向上に必要である。
合計点	42	
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		経営体育成支援事業					
	担当課・係名		産業振興課 農業振興対策室					
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ		
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成		
		項	01 農業費		小分類	01 やりがいのある農業の確立（重）		
目		03 農業振興費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>					
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	H31予算	
	総事業費（千円）		1,065	1,065	6,538	6,538	9,133	
	財源 内訳	国県支出金	1,065	1,065	6,538	6,538	9,133	
		その他特定財源	0	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	0	0	
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。								
③	対象（誰、何を対象にするのか） 人・農地プランの中心となる経営体に位置づけられている農業者							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 中心となる経営体（担い手・組合・認定農業者）が農業経営の発展・改善を目的として、農業用機械や施設の導入等に対する助成が受けられ、規模拡大・作業能力向上が図られる							
⑤	事業概要 農業用機械等を導入時に、最大3／10の助成を受けることができる *融資を受けることが条件 ◎H24年度までは、町農業再生協議会が事業実施主体であった							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 経営体育成支援事業交付規則							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）							
	指標名			H28	H29	H30		
	A	交付人数	単位：人	実績値	9	1	3	
				目標値	3	3	3	
	定義							
B		単位：	実績値	0	0	0		
			目標値	0	0	0		
定義								
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）							
	指標名			H28	H29	H30		
	A		単位：件	実績値	0	0	0	
				目標値	0	0	0	
	定義							
B		単位：	実績値	0	0	0		
			目標値	0	0	0		
定義								

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 今年度の事業は、3人の補助対象者となった。担い手が国の事業を活用しての機械導入はこの事業のみであり、農業者から毎年要望があるので今後も継続していく必要がある。 点数 12	
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 農業の再建を条件としており、助成対象者全員、農業経営を継続している。 点数 12	
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 要綱のとおり進めており、助成対象者の負担額は適正である。 点数 12	
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 該当する農業者にとっては、有効な事業であり毎年要望のある事業になっている。 点数 4	

⑪	課長総括評価 人・農地プランの中心となる経営体に農業経営の発展・改善を目的として機械の導入、施設整備は必要であり継続するべき事業である。 合計点 40 今後の方向性 <input type="text" value="現状のまま継続"/>
---	--

⑫	二次評価 今後の方向性 <input type="text"/>
---	-------------------------------------

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名	新規就農・経営継承総合支援事業					
	担当課・係名	産業振興課 農業振興対策室					
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		01 農業費	小分類		01 やりがいのある農業の確立（重）		
	目	03 農業振興費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移	H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	H31予算	
	総事業費（千円）	9,000	9,000	7,500	7,500	6,000	
	財源 内訳	国県支出金	9,000	9,000	7,500	7,500	6,000
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 新規就農者（45才未満）						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 経営不安定な就農直後の所得を確保する						
⑤	事業概要 事業実施主体：市町村（経営開始型） 対象者：認定新規就農者 認定新規就農者：1. 青年等就農計画の認定を受けていること 2. 独立・自営就農であること 3. 一定の基準を満たす経営開始計画を作成すること 4. 人・農地プランに位置づけられていること 5. 国の他の事業と重複受給していないこと 6. 原則として青年新規就農者ネットワークに加入すること						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 色麻町農業次世代人材投資資金交付規則						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：件	実績値	5	6	4	
			目標値	0	0	0	
	定義	窓口や電話により制度の説明や手続方法について相談をうける					
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	交付者数 単位：件	実績値	5	6	5	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	農業後継者不足、農業従事者の高齢化といわれている中で、新規就農者の確保をするためには有効な事業である
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	新規就農者の定着を図るために必要である
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	国庫補助100%であり適正である
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	交付開始数 平成25年度開始：1名 平成26年度開始：1名 平成27年度開始：1名 平成28年度開始：2名

⑪	課長総括評価	我が国農業が発展していくためには、担い手となりえる青年層の新規就農者の確保・定着の推進が急務となっていることから継続すべき事業である。
	合計点 50	
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		地域調整推進とも補償事業				
	担当課・係名		産業振興課 農業振興対策室				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
		項	01 農業費		小分類	01 やりがいのある農業の確立（重）	
目		06 生産調整対策費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	H31予算
	総事業費（千円）		1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	色麻町農業再生協議会の地域とも補償会計に対し助成。						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	米の生産調整の推進、米以外の作物の産地形成推進のため、機械助成、作物助成等の支援を実施する。						
⑤	事業概要						
	色麻町農業再生協議会の地域とも補償会計を活用し、機械助成、土づくり助成、作物助成等の支援を行い、米以外の作物の産地形成の推進と農業所得の安定を図る。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	米の生産調整は、平成16年から、国が一律に転作面積を配分する方式（ネガ面積配分）を国による生産数量の配分方式（ポジ数量配分）に変更された。さらに、平成19年からは、農業者・農業者団体の主体的な需給調整システムへ移行した。平成22年度には戸別所得補償モデル対策が実施されたところであり、23年度から戸別所得補償制度が本格実施される経営所得安定対策と名称が変更された。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
	補助金交付事務取扱要領（昭和62年3月26日要領第2号）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：円	実績値	24,425,740	24,312,308	24,184,120	
			目標値	0	0	0	
	定義	地域とも補償事業に参加する各農業者からの拠出金（1,000円/10a）					
	B	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
	⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）					
		指標名			H28	H29	H30
A		単位：ha	実績値	1,065	999	1,004	
			目標値	0	0	0	
定義		当該年度の転作面積（目標値は、当該年度に色麻町に配分された生産数量目標から算出した転作目標面積）					
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 農家、町、認定方針作成者それぞれの拠出により、地域とも補償事業を行っており、地域にも定着している。また、国費助成が全国一律の単価設定となっている趨勢を鑑みると、地域独自で調整できる地域とも補償事業は今の社会情勢に合致している。	
点数	14
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 国費助成の補完的な役割を果たすとともに、地域独自で調整が可能であるため、町の目指す将来像実現のために有効な事業設計が可能である。	
点数	14
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 国費助成で補てん可能な部分は国費助成を活用することにより、必要最低限の助成を行うことが出来ている。また、対象農家から拠出金を徴収していることから、相応の受益者負担が図られている。	
点数	14
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 地域とも補償事業は農家の間に定着しており、町として生産調整を毎年達成していることから、実績は上がっていると言える。	
点数	4

⑪	課長総括評価 今後の町農業における産地形成の推進、米の生産調整の推進のためには、地域とも補償事業は今後も必要不可欠である。平成30年度に生産調整が廃止され、町として国の政策の変化に柔軟に対応するため必要である。また、全国各地での以上気象発生による作物価格の変動に対応するため、今後とも事業を継続していく必要がある。
合計点	46
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価 今後の方向性
---	--------------------

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		米消費拡大推進事業				
	担当課・係名		産業振興課 農業振興対策室				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
		項	01 農業費		小分類	01 やりがいのある農業の確立（重）	
目		06 生産調整対策費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	H31予算
	総事業費（千円）		35	26	30	23	0
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	35	26	30	23	0
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 色麻小学校から、米消費拡大に係るポスターを募集し、秋祭りの場で表彰する。						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 米の消費量が年々減少している中、米の消費を喚起する一助としてポスターコンクールを実施している。ポスターを作成する過程で、日頃の食生活を見直すきっかけとなり、また食育にも繋がる。						
⑤	事業概要 色麻小学校から、米消費拡大に係るポスターを募集する。児童の夏休み期間の宿題として作成してもらい、その後、審査委員会による審査の上、最優秀賞、優秀賞、優良賞をそれぞれ決定する。秋祭りの際に応募全作品を町民体育館に掲示し、消費拡大を喚起する。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 毎年の児童数の変化、他のポスターコンクールの有無等により応募数は増減する。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：枚	実績値	24	30	24	
			目標値	0	0	0	
	定義 コンクールへのポスター応募数						
B	単位：個	実績値	15	21	0		
		目標値	0	0	0		
定義 コンクールへの標語応募数（H28で終了）							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	3
イ 最も適切な方法で行われている	3
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	3
評価の説明 食文化の多様化により、1965年に1人あたり115キロの米を食べていたのが、2012年には56キロと半分以下に消費が減少している。このような中、米の消費拡大を児童に意識してもらうためのきっかけになっている。また、作成過程において、家庭の食生活を見直すきっかけともなり、食育に繋がる。	9
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	3
イ 目的を達成するために有効な事業である	3
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	3
評価の説明 米の消費拡大を児童に意識してもらうきっかけとなっており、また、秋祭りの場で展示を行うことにより、広く町民へのアピールにも役立っている。	9
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	3
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	3
ウ 受益者負担は適正である	3
評価の説明 小学校の協力をいただいております、経費は最小限に抑えられています。	9
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	3
評価の説明 毎年実施しており、町民の間に定着している。	3

⑪	課長総括評価 J A、土地改良区等の関連団体との類似したコンクールがあること、小学校教師への取りまとめの負担、表彰者への楯制作への事務量を勘案し廃止
合計点	30
今後の方向性	廃止

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		大豆振興事業				
	担当課・係名		産業振興課 農業振興対策室				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
		項	01 農業費		小分類	01 やりがいのある農業の確立（重）	
目		06 生産調整対策費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	H31予算
	総事業費（千円）		0	0	5,300	4,432	5,300
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	5,300	4,432	5,300
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
担い手農家のうち、転作田大豆の団地化に取り組んでいる農家							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
コスト低減を図るため、団地化を推進するとともに、交付要件として収量を課することにより、収量向上意欲の拡大につなげる。							
⑤	事業概要						
大豆の受検収量を基とし、10a当たり受検収量が規定以上の担い手農家に対し助成を行う。 180～200kg/10a : 5,000円/10a 200kg/10a～ : 10,000円/10a							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
当該年度の助成体系により、大豆の作付面積は増減する傾向にある。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
色麻町生産調整対策事業補助金交付要綱							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	単位： ha	実績値	287	0	647		
		目標値	0	0	0		
定義 転作田における大豆の作付面積							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	3
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	3
評価の説明 点数 10	毎年、補助金額が減少してきているため、事業の目標が達成されていない。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	3
イ 目的を達成するために有効な事業である	3
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	3
評価の説明 点数 9	転作における基幹作物としての大豆を推進するとともに、収量増に向けた取組を促進するため、長期的にも効果が見込まれる事業となっていたはずだが近年は実績が減少している。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	3
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	3
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 10	助成体系の見直しが必要
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	3
評価の説明 点数 3	現状に則した事業とは言いがたい。

⑪	課長総括評価 合計点 32	今後は色麻町農業再生協議会幹事（関係機関）との意見交換を行い、事業内容の見直しを行う。
	今後の方向性	改善の上継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		環境保全型農業直接支払交付金事業				
	担当課・係名		産業振興課 農業振興対策室				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
		項	01 農業費		小分類	01 やりがいのある農業の確立（重）	
目		06 生産調整対策費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	H31予算
	総事業費（千円）		1,977	1,976	2,029	2,028	2,200
	財源 内訳	国県支出金	1,482	1,482	1,521	1,521	1,650
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	495	494	508	507	550
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	環境保全型農業に取り組む農業者 有機農業（無農薬、無化学肥料による栽培）や農薬・化学肥料の5割低減＋冬水湛水などの取り組み。						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	農業の維持的発展と多面的機能の健全な発揮を図るとともに、農業が本来有する自然環境機能を維持・増進させる。						
⑤	事業概要						
	米、麦、大豆、野菜等において、国の定める環境保全型農業に取り組んだ農業者に対し、10a当たり2,000円を助成する。国：4,000円（直接補助）、県：2,000円（間接補助）、町：2,000円						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	地球温暖化防止や生物の多様性保全に効果の高い営農活動を通じ環境の保全を図っていく。また、慣行栽培との差別化し、より安全で安心な農作物の供給と農業所得の向上が図られる。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
	色麻町環境保全型農業直接支払交付金交付要綱						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	面積（有機農業） 単位： a	実績値	1,400	1,921	1,970	
			目標値	0	0	0	
	定義	農薬、化学肥料を使わないで作物を生産した圃場面積					
	B	面積（堆肥の施用） 単位： a	実績値	1,687	1,999	2,058	
			目標値	0	0	0	
	定義	堆肥の施用を行った面積					
	⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）					
		指標名			H28	H29	H30
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 13	環境の保全、食の安全安心など社会の要求に合致
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 14	環境の保全面では有効な手段ではあるが、病虫害防除の観点では、他の慣行栽培との調整が課題。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	国、県の補助金を最大限活用しており、町としては最小限の支出で効果を得ている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	単年度毎の目標は達成。ただし、今後の面積拡大については、生産性の面から困難。

⑪	課長総括評価 農業が本来有する自然循環機能を維持・増進させるのに必要な事業である。 合計点 47
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		えごま栽培推進事業				
	担当課・係名		産業振興課 農業振興対策室				
予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ		
	款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成		
	項	01 農業費		小分類	01 やりがいのある農業の確立（重）		
	目	06 生産調整対策費		重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>			
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	H31予算
	総事業費（千円）		5,240	5,240	4,000	5,490	4,000
財源 内訳	国県支出金		0	0	0	0	0
	その他特定財源		3,400	3,400	3,000	290	3,000
	一般財源		1,840	1,840	1,000	5,200	1,000
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	色麻町えごま栽培推進協議会、えごま栽培出荷農家						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	町の地域特例作物であるえごまの作付拡大誘導、農家所得の向上及び農家経済の安定を図る。						
⑤	事業概要						
	①農協を通じ公社へ出荷した農家に対し、450円/kgを助成 ②50kg/10a以上出荷した農家に対し、30a以上の団地では5,000円/10a、60a以上の団地では10,000円/10aの助成 ③虫害を受けずき込みを行った農家に対し、5,200円/10aを助成（22年度限り） ④えごま栽培推進協議会の運営費として、年間50,000円の助成（21年度限りで廃止） ⑤平成26年度においても平成25年度並に作付けした農家に対し350円/kgを助成（25年度限り）						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	えごまの作付面積は、機械体系に取り組んで以来年々拡大しているところであるが、無農薬栽培であるため、天候、気温条件等に収量が大きく左右されるところ。その一方で、需要は年々増加していることから、安定した収量を確実にあげることが出来るよう、栽培面の指導等が課題。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
	色麻町生産調整対策事業補助金交付要綱						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
A	単位：円	実績値	7,240,853	5,239,635	5,489,925		
		目標値	0	0	0		
定義	作付支援、団地助成の合計金額						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
A	単位：ha	実績値	30	26	26		
		目標値	0	0	0		
定義	転作田におけるえごま栽培面積						
B	単位：t	実績値	10	10	10		
		目標値	0	0	0		
定義	農協を通じ、公社へ出荷されたえごまの数量						

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 12	町の地域特例作物であるえごまに対する、町独自の助成体系であり、農家の間にも浸透している。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	えごまの作付は農家に浸透しており、農家の経営安定の一助となっている。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	経営安定のための適正な助成水準となっており、また、その年の作柄状況に応じ適切な補正措置を行っている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	えごまの作付面積は日本で上位であるが、今後は、品質、収量の安定化が課題である。

⑪	課長総括評価 今後とも地域特例作物であるえごまの産地形成に資するためには、本事業の継続は必要不可欠である。えごまの栽培意欲向上のため、継続的支援が必要。なお、えごま洗浄機等の導入により昨年に比べ作付面積が約1割ほど向上している。
合計点 40	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価 継続実施
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		数量調整円滑化事業				
	担当課・係名		産業振興課 農業振興対策室				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		01 農業費	小分類		01 やりがいのある農業の確立（重）		
	目	06 生産調整対策費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	H31予算
	総事業費（千円）		50	50	50	50	50
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	50	50	50	50	50
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
行政区長							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
米の生産調整の確実なる実施、各種転作の推進を円滑に行う。							
⑤	事業概要						
行政区長に対し、生産調整の確実な実施等の活動に対して謝礼。 25行政区長×2,000円（かっぱの湯入場券）							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
米政策は年々大きく変化しているが、現場での実務においては、各行政区長の協力があったの政策実現である。翌年度の生産調整計画作成、転作現地確認、各種書類配布、回収等に協力をいただいている。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	単位： ha	実績値	999	1,065	999		
		目標値	0	0	0		
定義	当該年度の転作面積（目標値は、当該年度に色麻町に配分された生産数量目標から算出した転作目標面積）						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	単位： ha	実績値	1,065	999	1,004		
		目標値	0	0	0		
定義	当該年度の転作面積（目標値は、当該年度に色麻町に配分された生産数量目標から算出した転作目標面積）						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	3
イ	最も適切な方法で行われている	4
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明	各行政区長の推進努力に対し、町からの謝礼として適切である。	
点数	11	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	4
イ	目的を達成するために有効な事業である	4
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明	生産調整における各行政区長の役割は大きく、円滑な生産調整の実施に貢献している。	
点数	12	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	4
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ	受益者負担は適正である	4
評価の説明	最小の費用であるが、年間を通じた協力をいただいている。	
点数	12	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明	各行政区長の活動により、生産調整は毎年度達成しているところ。	
点数	4	

⑪	課長総括評価	今後も、転作関係で大きな役割を担う行政区長に対し、町として適切な謝礼をすることが必要不可欠である。
合計点	39	
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		水田営農条件整備事業				
	担当課・係名		産業振興課 農業振興対策室				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		01 農業費	小分類		01 やりがいのある農業の確立（重）		
	目	06 生産調整対策費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	H31予算
	総事業費（千円）		3,659	3,659	3,372	2,760	5,448
	財源 内訳	国県支出金	2,815	2,815	2,594	2,123	4,191
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	844	844	778	637	1,257
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 各種転作機械の整備であり、事業主体は主として加美よつば農業協同組合である。						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 地域水田農業ビジョンの実現に向け、低コスト化を図り、高品質な農産物を生産するため、必要な機械を整備する。本事業により導入した機械により、面積処理能力の向上が見込まれ、定着が見込まれる。						
⑤	事業概要 えごまコンバイン、えごま定植機、えごま選別機、多目的田植機等の導入に際し、県が1／3補助を行い、町が1割補助を行う。残額は、事業主体である加美よつば農業協同組合が支出し、機械を導入している。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 本事業を用い、転作に必要な機械を年々整備しており、本町においては主としてえごまに係る機械を整備している。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 市町村振興総合補助金実施要綱						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
	A	単位：円	実績値	6,941,808	9,123,408	6,879,000	
			目標値	0	0	0	
	定義	本事業を用い、導入された各種機械の総額					
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
	A	単位：ha	実績値	26	26	26	
			目標値	0	0	0	
	定義	転作田におけるえごまの栽培面積					
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 13	転作の規模拡大に際し、必要機械を整備するために必要不可欠な事業である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 13	収穫作業の効率化が図られ、各種転作作物の産地形成につながっている。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	県の補助金を最大限活用しており、町としては最小限の支出で最大の効果を得ている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	今後の転作の方向性に適切に対応し、必要機械を整備していく必要がある。

⑪	課長総括評価 合計点 43 今後の方向性	本事業は各種作物の産地形成に大いに寄与している。今後も、転作作物の生産拡大がよりいっそう求められることを鑑みれば、ニーズにあった機械を適切なタイミングで導入していく必要がある。 現状のまま継続
---	----------------------------	--

⑫	二次評価 今後の方向性	
---	----------------	--

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		経営所得安定対策直接支払推進事業				
	担当課・係名		産業振興課 農業振興対策室				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		01 農業費	小分類		01 やりがいのある農業の確立（重）		
	目	06 生産調整対策費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	H31予算
	総事業費（千円）		4,333	4,333	4,333	6,400	4,599
	財源 内訳	国県支出金	4,333	4,333	4,333	6,400	4,599
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
経営所得安定対策直接支払推進事業を推進することにより、農業経営の安定と生産力の確保・向上を図る。							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
色麻町水田農業ビジョンの目的達成に向け、経営所得対策を補う地域調整推進とも補償事業と合わせ、米の生産調整の的確な実施及び水田環境等良好な保全を図りながら、需要に応じた作物生産及び水田農業の構造改革を推進し、消費者の期待に応える産地づくり、担い手の育成確保等の農業経営の安定と持続的で発展性のある農業の確立を目指す。							
⑤	事業概要						
経営所得安定対策事業の推進のための経費を色麻町農業再生協議会に対し助成する。 財源：国費（県から交付） 内容：米の生産数量目標に基づく配分、調整、事務手続き。 水田農業ビジョンに基づき、転作作物の作付けの調整、事務手続き。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
現在の米政策は単に減反施策ではなく、経営所得安定対策（戸別所得補償）として、恒常的な赤字となっている作物の所得補償による生産力の確保と食料自給率の向上をめざし各種施策となっている。推進事務費の交付先は、再生協議会から町に変更されている。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
色麻町経営所得安定対策直接支払推進事業費補助金交付要綱							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	主食用水稻作付面積	単位： ha	実績値	1,387	1,456	1,448	
			目標値	0	0	0	
定義 水稻作付面積（目標値を超えた面積は、H22は町域間調整事業、H23、H24は東日本大震災被災地域との町域間調整事業により調整）							
B	転作面積	単位： ha	実績値	1,065	999	1,004	
			目標値	0	0	0	
定義 転作面積							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 13	環境の保全、職の安全安心など社会の要求に合致
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 14	町、農協、関係機関が一体となり取り組んでおり効果も高い。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	国、県の補助金を最大限活用しており、町としては最小限の支出で効果を得ている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	米の生産数量目標を達成しており実績は上がっている。

⑪	課長総括評価 色麻町水田農業ビジョンの目的達成と国の補助事業である経営所得安定対策の推進に係る事業として、今後も継続していく必要がある。
合計点 46	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		農地集積・集約化対策事業				
	担当課・係名		産業振興課 農業振興対策室				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
		項	01 農業費		小分類	01 やりがいのある農業の確立（重）	
目		03 農業振興費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	H31予算
	総事業費（千円）		20,779	20,779	7,000	2,661	7,000
	財源 内訳	国県支出金	20,779	20,779	7,000	2,661	7,000
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
<p>助成対象者</p> <p>地域集積協力金：「地域」内の農地の一定割合以上が機構に貸し付けられている地域</p> <p>経営転換協力金：①経営転換する農業者 ②リタイヤする農業者 ③農地の相続人</p> <p>耕作者集積協力金：機構の借受農地等に隣接する農地を「自ら耕作する農地を機構に貸し付けた所有者」「所有者が農地を機構に貸し付けた場合の当該農地の耕作者」</p> <p>交付要件を満たした出し手に対して、交付単価に応じて協力金を交付する</p>							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
<p>機構に対し農地を貸し付けた地域及び個人を支援することにより、機構を活用した担い手への農地集積・集約化を加速することを目的とする</p>							
⑤	事業概要						
<p>農地中間管理事業により担い手への農地集積に協力する地域・個人に対して機構集積協力金を交付します</p>							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
<p>国・県の事業なため、従って実施する</p>							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
<p> </p>							
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
指標名			H28	H29	H30		
A	農事組合法人設立数	単位：	実績値	1	1	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
指標名			H28	H29	H30		
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 12	集落営農組合による機械の共同利用・団地化による作業の効率化を図れる法人化に向けて推進するために妥当である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	離農するタイミングを与え、耕作放棄地を防ぐ。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	国の政策であり有効な事業である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	集落営農組合から1法人、この事業による成果である。

⑪	課長総括評価 各法人は際この事業を活用し、機械の導入、施設の整備等に充てているので、法人化を推進するために妥当な事業である。また、国庫事業でもあるので町として大いに法人等に活用してもらうため推進する必要があり今後の継続は必須である。
合計点 40	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		担い手経営発展支援事業（人・農地問題解決推進加速化支援事業）				
	担当課・係名		産業振興課 農業振興対策室				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		01 農業費	小分類		01 やりがいのある農業の確立（重）		
	目	03 農業振興費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	H31予算
	総事業費（千円）		400	400	0	0	0
	財源 内訳	国県支出金	400	400	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	1. 平成29年度以降に設立された法人、農業組織されたものであること 2. 構成員が複数戸であること						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	農業経営に関しては、食料・農業・農村基本法において「国は、経営管理の合理化その他の経営の発展及びその円滑な継承に資する条件を整備し、家族農業経営の活性化を図るとともに、農業経営の法人化を推進するために必要な施策を講ずるものとする」と定められています。これらの政策課題のうち、農業経営の法人化については「日本再興戦略」において2010年時点で約12,500の法人経営体数を今後10年間で約4倍の5万人に増加させることを目指すこととしており、大規模な家族経営や集落営農の法人化の取組を更に加速化させることを目的としています。						
⑤	事業概要						
	1. 農業経営の法人化支援 集落営農又は複合経営の法人化、法人同士の統合等による新たな法人の立ち上げといった農業経営の法人化の取組に対して、1取組当たり定額40万円を補助する。 2. 集落営農の組織化支援 集落営農の組織化の取組に対して、1取組当たり定額20万円を助成する。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	国の事業のため、従って実施する。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	法人設立数	単位：	実績値	0	1	1	
			目標値	0	10	10	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	町内農業組織の経営管理能力の向上、対外信用力の向上、経営発展の可能性の拡大等を図るためには有効な事業である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	農業経営において各組織の法人化を図るために必要である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	国庫補助100%であり適正である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	法人化を目指す農業者、農業組織にとっては、有効な事業でありほぼ毎年要望のある事業になっている。

⑪	課長総括評価	国の交付の手续が町を通さない形になったため廃止
	合計点 50	
	今後の方向性	廃止

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		農業委員会運営事業				
	担当課・係名		農業委員会				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		01 農業費	小分類		01 やりがいのある農業の確立（重）		
	目	01 農業委員会費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		9,181	8,983	8,306	8,208	8,415
	財源 内訳	国県支出金	2,325	2,325	2,351	2,351	2,092
		その他特定財源	677	989	627	948	565
		一般財源	6,179	5,669	5,328	4,909	5,758
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
<ul style="list-style-type: none"> ・農地を所有する者、農業者等（土地持ち非農家を含む農地所有者、耕作者、農業生産法人） ・農業者年金加入者（被保険者）・受給者 ・農業者年金未加入者（農業者年金加入促進対象者） 							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
<ul style="list-style-type: none"> ・法令に基づく農地の適正な権利移動及び転用 ・担い手への農地集積・集約化 ・農業者年金加入による老後の生活の安定及び女性の加入促進 							
⑤	事業概要						
<p>農業委員会に関する法律に基づき、農業委員会として次の業務を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地法に基づく農地の権利移動の許認可 ・農地法に基づく農地転用申請の受理及び県への意見書添付 ・農業経営基盤強化促進法に基づく農地の権利移動の許認可 ・農地中間管理事業推進法に基づく農地の権利移動に関する事務 ・農地の利用状況調査（全筆調査） ・農業者年金加入者の現況調査及び諸手続 ・農業者年金の加入推進 							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
<p>平成25年の農地法改正によって「農地台帳と農地地図システムの整備、活用」が法定化された。また、平成27年の法改正では、「農地等の利用の適正化の推進」として①担い手への農地集積・集約化、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進が農業委員会の必須事務に位置づけられ、農地利用最適化推進員の新設と共に農業委員との密接な連携を図り、農地等の利用の最適化を進めることとなった。</p> <p>一方、現実では担い手の確保についてはかなり厳しい状況であり、現時点の農地を保全していくことは困難な状況まで来ている。</p>							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
<ul style="list-style-type: none"> ・農業委員会等に関する法律 ・農地法 ・農業経営基盤強化促進法 ・農業振興地域の整備に関する法律 ・農地中間管理事業推進に関する法律 ・独立行政法人農業者年金基金法（第10条／業務の委託） 							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	申請件数	単位：	実績値	46	21	23	
			目標値	0	0	0	
<p>定義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地法第3条許可に係る権利移転・設定（農地の売買・賃貸借等・所有等） ・転用許可申請手続きに係る事務処理（農地法第4条・5条） 							
B	農業者年金受給者数	単位：	実績値	346	300	274	
			目標値	0	0	0	
<p>定義</p> <p>農業者年金を現に受給している者／農業者年金被保険者で現に実納している者</p>							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	賃貸借等申請件数	単位：	実績値	125	139	62	
			目標値	0	0	0	
<p>定義</p> <p>農業経営基盤強化促進法に基づく賃貸借等の申請受け付け、及び同法18条により農業委員会の決定を経た農用地利用集積計画の公告・登記等事務処理。</p>							
B		単位：人	実績値	1	1	0	
			目標値	0	0	0	
<p>定義</p> <p>各年度に於いて農業者年金に加入した人数／県内でも加入者勧誘の困難な中で、継続して、加入者数の目標を達成していく環境づくりを推進。</p>							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 農業委員会の担うべき役割をしっかりと果たすためには、事務局機能を含めた組織体制の整備・強化に向けた人員の配慮と予算措置（委員・職員の質的向上）が重要であると思われる。	
点数	14
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 農業者の生活向上のため、安心と安全な力強い農業をつくる『かけ橋』との組織理念のもとに、地域の実情に応じた課題の解決に向け、目標と計画等を定め取り組みを進めていくことがこれからも重要と考えられる。	
点数	14
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 法令遵守し、適正な処理を行っている。ただし、委員・職員の質的向上のための予算措置が必要。	
点数	13
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 農家の要望どおりに農地行政業務は達成している。今後、委員及び職員の質的向上を図るための研修等の予算措置が必要である。	
点数	4

⑪	課長総括評価 根幹に関わる法令業務については、標準的な処理を行っている。さらに、今後の課題としては、農業者に対する情報提供を綿密に行うことが課題。 農地制度の改正により農地行政事務の重要性が増す中で、行政の理解のもと農地制度と実務に精通した事務局職員の育成・確保を図る必要があると同時に、新たな農地政策の展開にあたっては、委員会組織自らも適正な事務実施、機能発揮のためには、農業委員一人一人の自覚と意識改革に努めることが重要と思われる。
合計点	45
今後の方向性	改善の上継続

⑫	二次評価
今後の方向性	現状のまま継続

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		農地銀行活動事業				
	担当課・係名		農業委員会				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		01 農業費	小分類		01 やりがいのある農業の確立（重）		
	目	09 農地銀行活動事業費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		211	211	211	211	211
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	211	211	211	211	211
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	<ul style="list-style-type: none"> ・農地流動化推進員：農業委員12名／区長25名 ・農地の権利移動における情報提供や借り手・買い手の掘り起こし 						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	農地保全及び担い手への農地集積・集約化						
⑤	事業概要						
	農地の権利移動における受け手となる候補者の情報収集及び掘り起こし						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	農地中間管理事業で白紙委任により農地の集積・集約化の促進が望まれたが、現実的には受け手を確保した状態でしか農地中間管理事業が行われないため、貸し借りや売買の結びつけが困難な状況である。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	人数	単位：	実績値	35	37	37	
			目標値	0	0	0	
定義 ・農地流動化推進員として謝礼数。							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 12	民間で代用できる性質の事業ではなく、また町民に一定のニーズがあることは確かであり、業務の妥当性は相当程度あるものと考えられる。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	農地の集約化に一定の役割をはたしており、高齢化が進む昨今の状況を鑑みるに、町の農業の将来のために不可欠な業務であり、相当の有効性を保持しているものと考えられる。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	借り手を超える出し手ニーズの状況から、農業委員会だけで結びつけることは困難であり、その点では行政区長が推進員となって推進しており実行可能となっている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	現在のところ持ち越し案件は無く目標は達成している。

⑪	課長総括評価 今後とも町内の農地等の流動化推進を図るうえで、最も身近な地域に精通した仲介役として適した方々と思われる。 合計点 40
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価 今後の方向性
今後の方向性	